仕事と子育ての両立支援に関する職員アンケート集計結果

令和７年３月
総務部人事課

調 査 概 要

１　調査の目的

「仕事と子育ての両立支援のための新潟県特定事業主行動計画（第４期計画）」の計画期間が今年度末で終了し、新たな計画を策定することとしている。
策定に当たっての参考とするため、職員の仕事と子育ての両立等に対する意識及び実態を調査するもの。

２　調査対象

○　知事部局、企業局及び各種行政委員会職員のうち、正規職員
（公益法人等への派遣職員、他の自治体への派遣職員、被災地通年派遣職員、国・企業等長期派遣研修職員、国割愛採用職員、県警・教員出向受入職員、定年退職予定職員、暫定再任用職員及び課長級以上の職員を除く。）

３　調査方法

⑴ 職員ポータル上の『電子申請システム』を活用し、アンケート作成・回答・集計作業を行う。
⑵ 対象職員全員の個人アドレスに、人事課所属メールからアンケートの実施を通知（回答先 URL を添付）するとともに、「職員へのお知らせ」に調査実施について掲載する。
⑶ 上記調査対象職員のうち、産前産後休暇、育児休業、病気休職及び被災地派遣中（短期）の職員については、本人に回答先 QR コードを記載した依頼文を郵送し、回答を依頼する。

４　調査期間　　令和６年 11 月 18 日～12 月２日（15 日間）

５　回答数

（調査対象）
４，３５４人　（全職員（5,533 人）の 78.6%）
うち、男性 3,026 人、女性 1,328 人

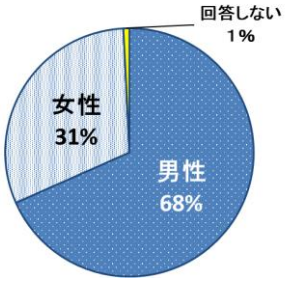
（有効回答数）
２，７９８人　（回収率 64.3%）
うち、男性 1,928 人、女性　870 人、回答しない 22 人

回答者の属性について

- 回答の男女比は、対象者の男女比とほぼ同一。（回答率 64.7%）
- 子どものいる割合は男性の方が高く、68.3%であったほか、小学生以下の子を持つ職員の割合は全体で 50%を超えている。
- 配偶者の就労状況は、男性職員は公務員以外の就業者が多く、女性職員は公務員が最も多い。

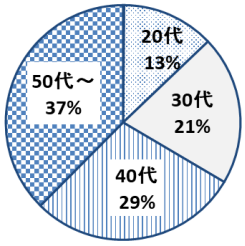
問１　あなたの性別はどちらですか。

男　　性	1,928
女　　性	870
回答しない	22
計	2,820



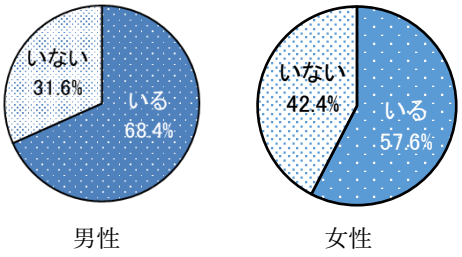
問２　令和６年度末現在における、あなたの年齢区分を選んでください。

10 代	4
20 代	359
30 代	581
40 代	817
50 代以上	1,059



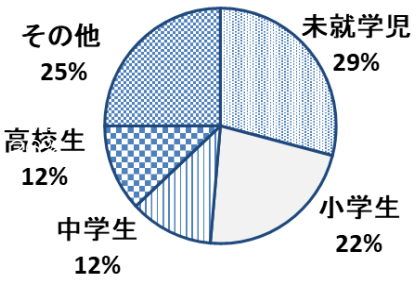
問３　現在あなたは子どもがいますか。

	いる	いない	計
男性	1,318	610	1,928
女性	501	369	870
回答しない	8	14	22
計	1,827	993	2,820



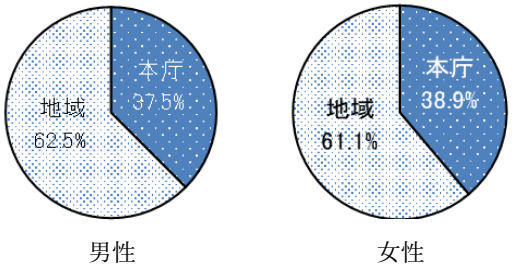
問４　子どもの年代を選んでください。（複数の場合は一番下の子の年代）

	男性	女性	回答しない	計
未就学児	370	160	1	531
小学生	292	112	4	408
中学生	153	59	1	213
高校生	154	62	2	218
その他（大学生・社会人等）	349	108	0	457
計	1,318	501	8	1,827



問５　あなたの所属

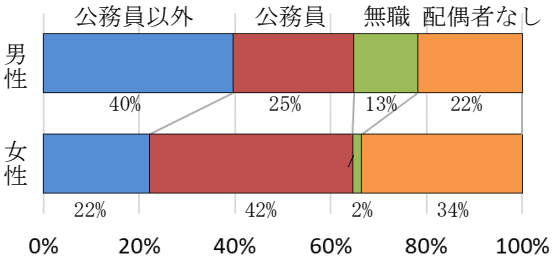
	本庁	地域	計
男性	723	1,205	1,928
女性	338	532	870
回答しない	7	15	22
計	1,068	1,752	2,820



男性　　女性

問６　配偶者の就労状況について、当てはまるものを１つ選んでください。

	男性	女性	回答しない	計
１　公務員以外	764	193	10	967
２　公務員	487	369	3	859
３　無職	256	16	1	273
４　配偶者なし	421	292	8	721
計	1,928	870	22	2,820



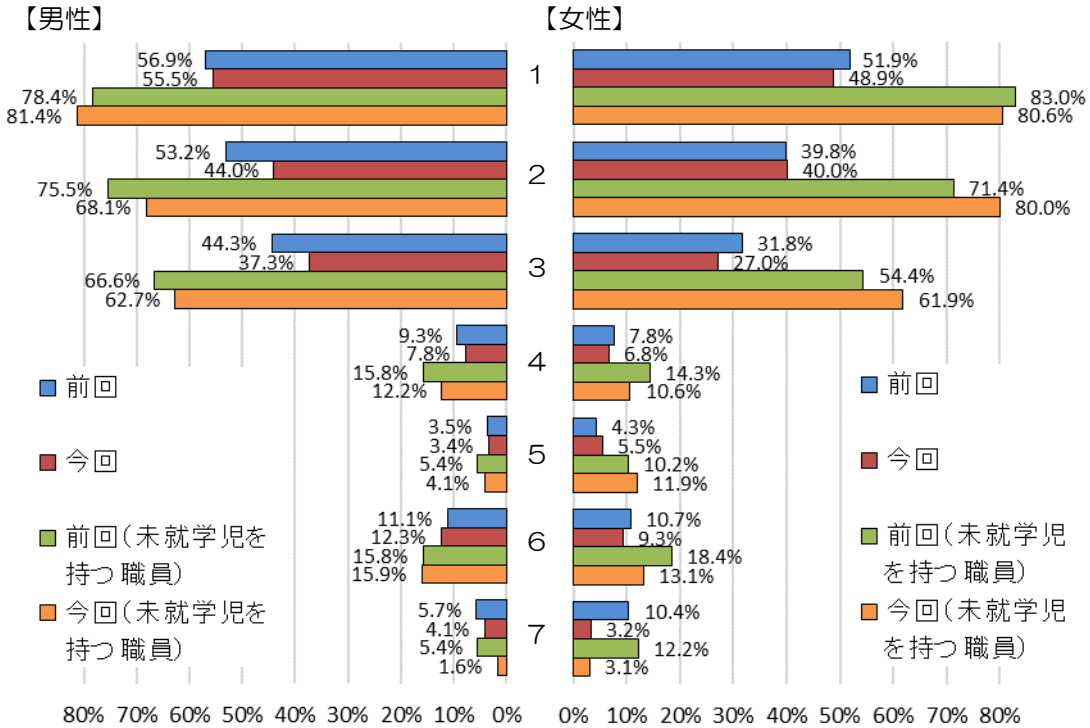
育児休業の取得について

- 職員の育児休業取得の促進策としては、男女とも職場環境の改善及び休業中の経済支援を挙げている。（前回調査と同様）
- 育児休業の取得率は、女性はほぼ 100%に近い。男性は未就学児を持つ職員の場合、前回調査から大きく伸びているが、50%に満たない。
- 育児休業を取得しなかった理由について、「自分以外に育児をする人がいたため」との回答は減少しており、男性の育児参加の意識が高まっている。
- 一方、特に未就学児を持つ職員はそれ以外の職員に比べ、「業務の繁忙」、「経済的な問題」、「職場の雰囲気」を多く挙げている。

問７　育児休業の取得を促進するために取り組むことが必要と思われる事項として、あなたの考えにあてはまるものを【３つ以内】で選んでください。

	男性	女性	回答しない	計
1 業務遂行体制の工夫・見直し（代替職員の配置）	1,071	425	8	1,504
2 職場の意識改革（取得し易い職場の雰囲気づくり）	848	348	4	1,200
3 休業期間中の経済的支援の拡大	719	235	5	959
4 育児休業等の制度の内容に関する情報提供	150	59	0	209
5 育児休業経験者の体験談等に関する情報提供	65	48	0	113
6 休業者に対する職場の状況に関する情報提供	237	81	0	318
7 職場復帰時の研修等の支援	79	28	2	109

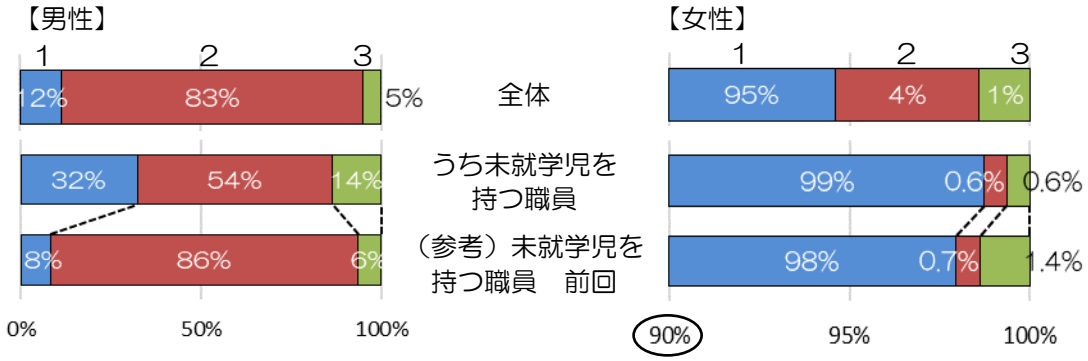
分母　　全　　体　　：男性　1,928 人、女性　870 人
　　未就学児をもつ職員：男性　　370 人、女性　160 人



問８　あなたは子どもが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。当てはまるものを１つ選んでください。

	男性	女性	回答しない	計
１ 取得した	154	474	1	629
２ 取得しなかった	1,098	20	7	1,125
３ どちらも経験した	66	7	0	73
計	1,318	501	8	1,827

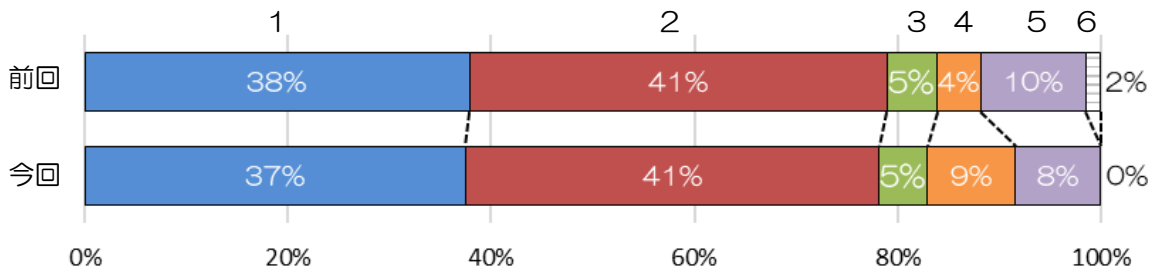
※分母：問３でこどもが「いる」と回答した職員



問９　育児休業を取得した動機について、あなたの考えに近いものを１つ選んでください。

	今回	前回
１ 育児をしたかったから	263	176
２ 自分が育児をして当然と思ったから	286	191
３ 配偶者と相談し、自分が育児をすることになったから	33	23
４ 先に育児をしていた配偶者と交代又は共同で育児をすべきと思ったから	61	20
５ 他に育児をすることができる者がいなかったから（託児できなかった場合を含む）	59	48
６ その他	0	7
計	702	465

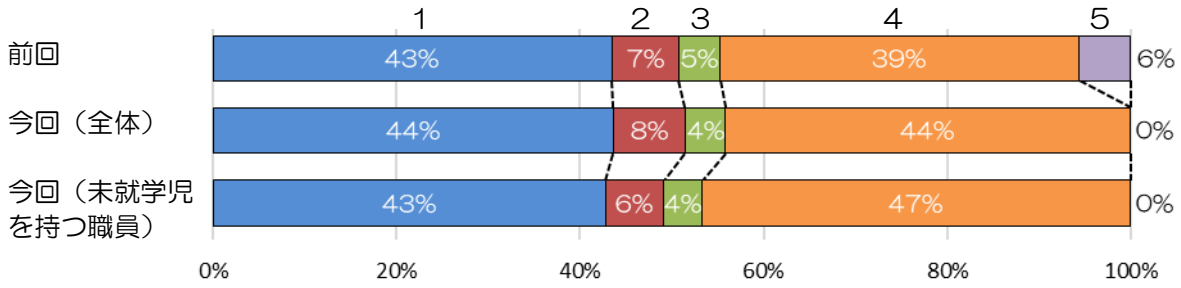
※分母：問８で育児休業を「取得した」「どちらも経験した」と回答した職員



問 10　育児休業を取得する際に最も障害となった事項を１つ選んでください。

	今回	前回
1 業務に支障が出ること	306	202
2 昇給等に差がつくこと	55	34
3 職場の理解が得にくかったこと	31	21
4 経済的に厳しくなること	310	182
5 その他	0	26
計	702	465

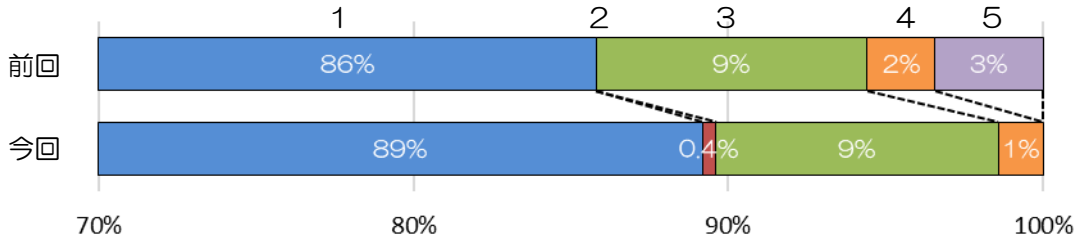
※分母：問８で育児休業を「取得した」「どちらも経験した」と回答した職員



問 11　育児休業を取得した感想として、あなたが強く感じたものを１つ選んでください。

	今回	前回
1 子育ての大変さと喜びを感じた	626	399
2 子育てから得られたものは少なかった	3	0
3 職場を長く離れて不安を感じた	63	40
4 育休は取らなくて良いと思った	10	10
5 その他	0	16
計	702	465

※分母：問８で育児休業を「取得した」「どちらも経験した」と回答した職員

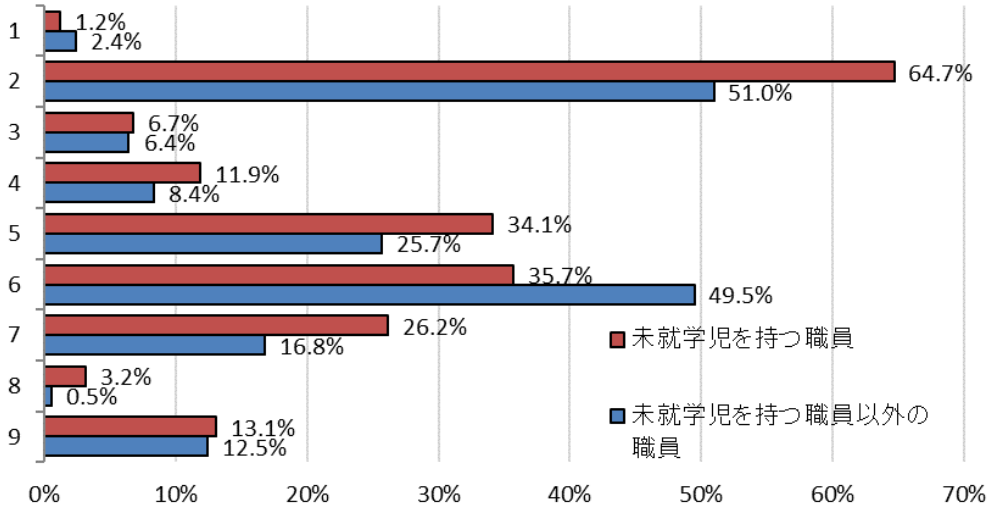


問 12　なぜ育児休業を取得しなかったのですか。あなたの考えに当てはまるものを【３つ以内】で選んでください。

	今回	前回
1 仕事にやりがいを感じていたため	26	29
2 業務が繁忙で職場に迷惑をかけるため	645	603
3 昇給等に影響があると思ったため	78	116
4 復帰後の職場や仕事の変化に対応できなくなると思ったため	109	108
5 経済的に厳しくなるため	329	411
6 自分以外に育児をする人がいたため	558	739
7 職場が育児休業を取得しにくい雰囲気であったため	225	203
8 配偶者や家族からの反対があったため	13	10
9 他の休暇・休業制度で対応できたため	151	120
10 その他	192	0

※分母：問８で育児休業を「取得しなかった」「どちらも経験した」と回答した職員のうち、

未就学児を持つ職員 n=252
未就学児を持つ職員以外の職員 n=946



その他の意見

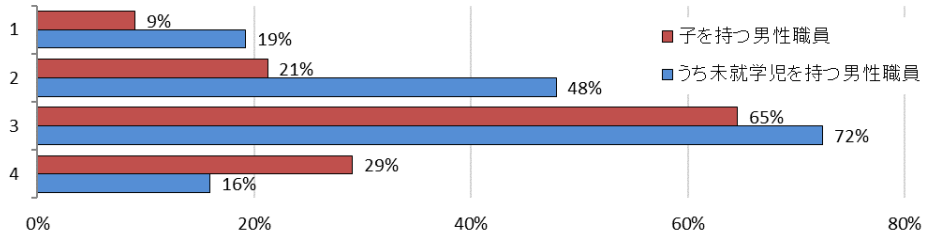
- 経済的理由（金銭面の影響について家族で検討を重ね、取得を諦めた）
- 職場、業務の状況（多忙であったため、短期間の休暇のみ取得した）
- 職場の意識（（派遣、赴任１年目、単身赴任中等で）休業を申し出づらかった。）

男性の育児参加について　【子どものいる男性職員（n=1,318）のみ回答】

- 出産・育児のための特別休暇について、育児参加休暇は 48%、妻の出産休暇は 72%が取得しており、取得率は上昇傾向にあると推測される。
- 取得しなかった理由では、「自分以外に育児する人がいた」と回答した職員は減少しており、男性の育児参加への意識づけは進んでいるものと考えられるが、「制度を知らなかった」との職員は増加しており、周知が必要。

問 13　あなたは子どもが生まれたとき、以下の休暇を取得しましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

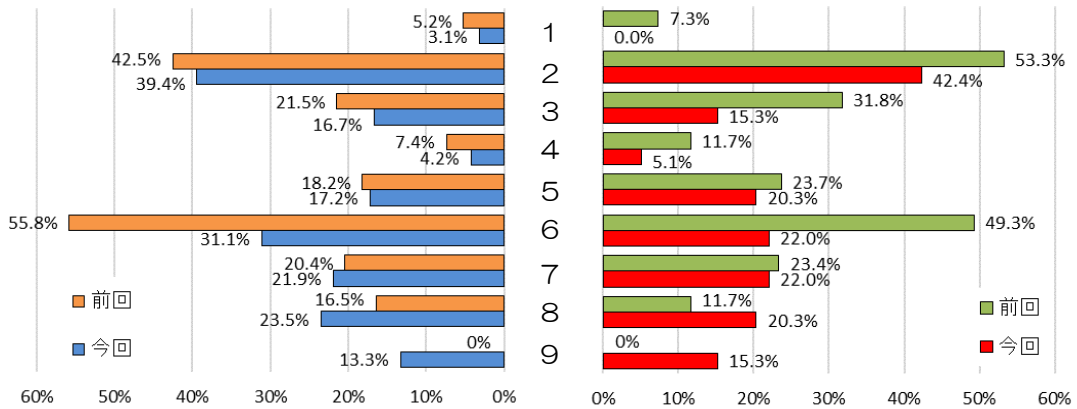
	全体	未就学児
1 育児休暇を取得	119	71
2 男性職員の育児参加休暇を取得	280	177
3 妻の出産休暇を取得	851	268
4 いずれも取得しなかった	383	59



問 14　なぜ休暇を取得しなかったのですか。あなたの考えに当てはまるものを【3つ以内】で選んでください。

	全体	未就学児
1 周りから仕事をしていないと思われるため	12	0
2 周りの人に迷惑がかかるため	151	25
3 取得後に多忙になるため	64	9
4 上司に申し出にくいため	16	3
5 職場の雰囲気で申し出にくいため	66	12
6 自分以外に育児する人がいたため	119	13
7 別の休暇で対応できたため	84	13
8 制度を知らなかったため	90	12
9 その他	51	9

【全体 n=383】　【未就学児をもつ親 n=59】

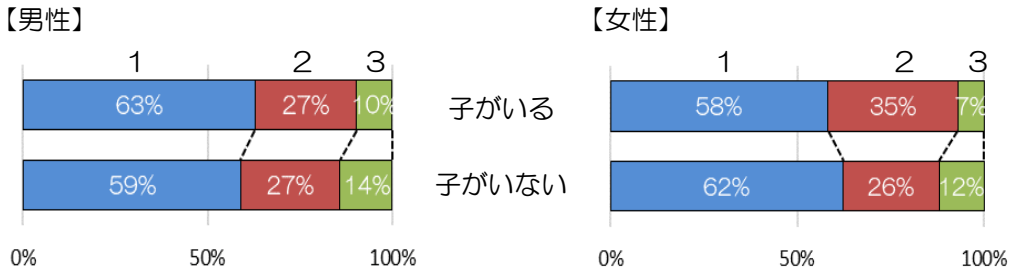


年次有給休暇について

- 男性は子どもがいる職員ほど希望する時に取得できている。
- 前回調査よりも育児や子の病気・教育等のために取得した割合は低下している。
- 年休の取得にためらいを感じる理由として「上司に申し出にくい」「職場の雰囲気」等の割合は上がっており、取得しやすい職場環境づくりに取り組む必要がある。
- 「取得後に多忙になる」の割合は多く、職員１人１人の業務負担が依然として高くなっていることがうかがえる。

問 15　あなたは必要な時に年次有給休暇を取得できていますか。

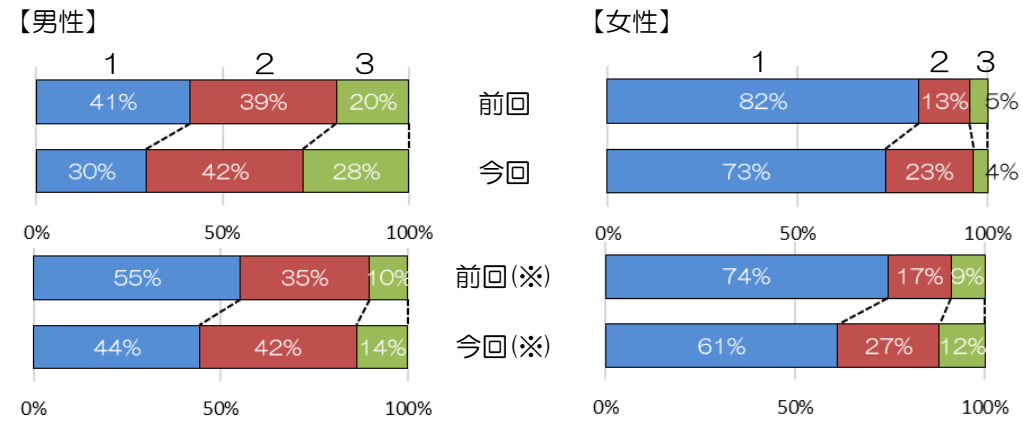
子どもの有無	男性		女性		回答しない		計
	有	無	有	無	有	無	
1 ほとんど休めている	828	362	292	230	2	11	1,725
2 半分ほど休めている	362	161	174	95	4	2	798
3 ほとんど休めていない	128	87	35	44	2	1	297
計	1,318	610	501	369	8	14	2,820



問 16　取得した年次有給休暇のうち、育児や子の病気・教育等のために取得した割合はどの程度ですか。（子どものいる職員のみ）

	男性			女性			回答しない	
	前回	今回	今回(※)	前回	今回	今回(※)	今回	今回(※)
1 ほとんど育児のため	489	389	293	281	307	198	2	2
2 半分以下	463	554	279	63	134	64	4	1
3 あまりない	231	375	90	33	60	10	2	2
計	1,183	1,318	662	377	501	272	8	5

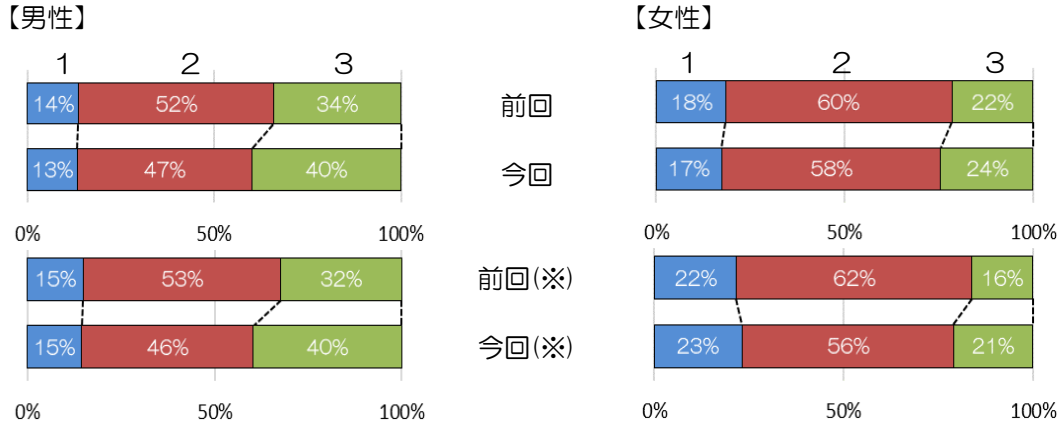
※「(※)」は小学生以下の子を持つ職員



問 17　年次有給休暇を取得することにためらいを感じますか。当てはまるものを１つ選んでください。（全員回答）

	男性			女性			回答しない	
	前回	今回	今回(※)	前回	今回	今回(※)	今回	今回(※)
1 感じる	225	258	96	119	151	55	5	2
2 多少感じる	857	896	303	387	506	158	11	2
3 感じない	572	774	263	139	213	41	6	1
計	1,654	1,928	662	645	870	254	22	5

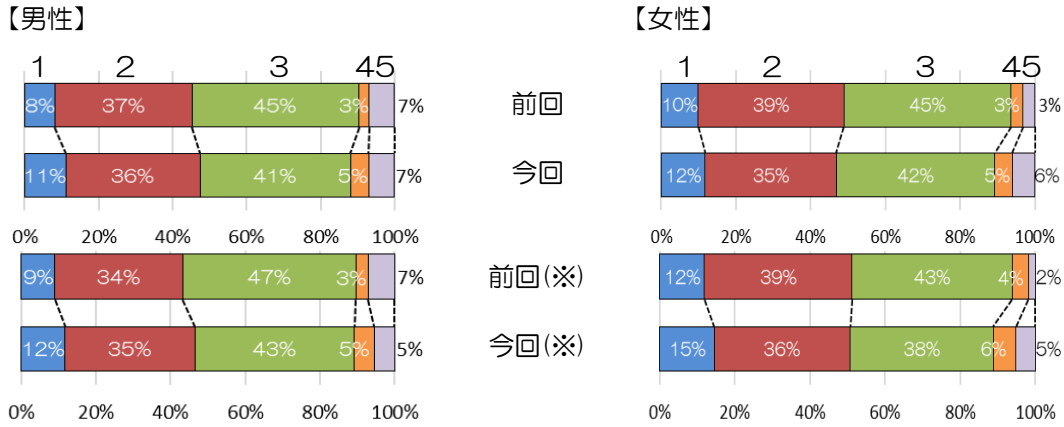
※「(※)」は小学生以下の子を持つ職員



問 18　ためらいを感じる理由としてあなたの考えに近いものを３つ選んでください。

	男性			女性			回答しない	
	前回	今回	今回(※)	前回	今回	今回(※)	今回	今回(※)
1 周りから仕事をしていないと思われる	87	224	86	46	139	25	1	0
2 周りの人に迷惑がかかると感じる	395	729	251	195	413	83	6	4
3 取得後に多忙になる	481	819	312	224	499	90	6	3
4 上司に申し出にくい	30	99	39	16	56	9	3	1
5 職場の雰囲気で取得しづらい	73	130	40	16	71	4	2	1
計	1,066	2,001	728	497	1,178	211	18	9

※「(※)」は小学生以下の子を持つ職員。分母は回答数の計。

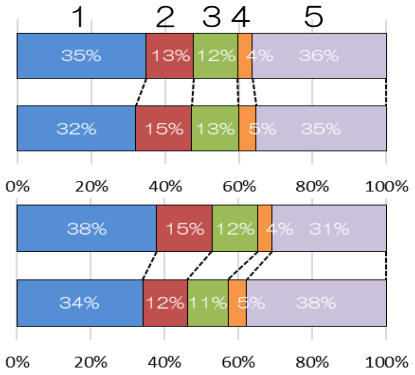


問 19　ためらいを感じない理由として、あなたの考えに最も近いものを１つ選んでください。

	男性			女性			回答しない	
	前回	今回	今回(※)	前回	今回	今回(※)	今回	今回(※)
1 当然の権利である	192	247	89	32	56	20	4	1
2 休んでも後で仕事に影響を生じない	71	121	33	14	32	8	1	0
3 休んでも周りに迷惑をかけない	65	98	29	16	13	1	0	0
4 上司や周りから休むように言われる	25	36	13	5	8	0	0	0
5 職場の雰囲気で取得しやすい	200	272	99	69	104	28	1	1
計	553	774	263	136	213	41	6	2

※「(※)」は小学生以下の子を持つ職員。分母は回答数の計。

【男性】



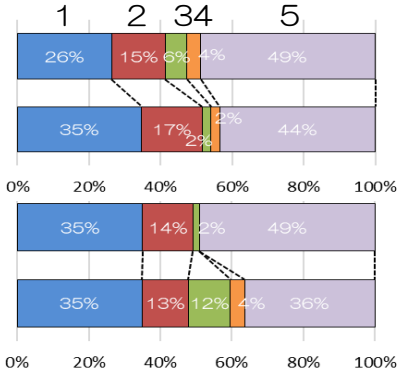
前回

今回

前回(※)

今回(※)

【女性】

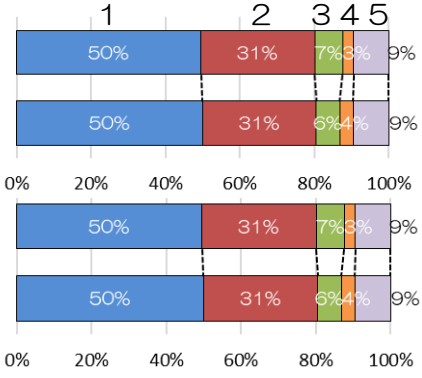


問 20　年次有給休暇の取得を促進するために取り組むことが必要と思われる事項としてあなたの考えに最も近いものを１つ選んでください。

	男性			女性			回答しない	
	前回	今回	今回(※)	前回	今回	今回(※)	今回	今回(※)
1 業務遂行体制の工夫・必要	820	962	349	356	480	152	14	3
2 職場の意識改革（取得しやすい職場の雰囲気）	505	590	182	160	228	71	4	1
3 年次有給休暇の計画表の作成・実施	124	123	38	41	56	15	1	0
4 ｺﾞｰﾙﾃﾞﾝｳｨｰｸ期間、夏季休暇等と併せた連続休暇の取得促進	50	70	14	12	31	5	1	0
5 職員やその家族の記念日における休暇や学校行事への参加等のための休暇の取得促進	155	183	79	74	75	29	2	1
計	1,654	1,928	724	643	870	272	22	5

※「(※)」は小学生以下の子を持つ職員。分母は回答数の計。

【男性】



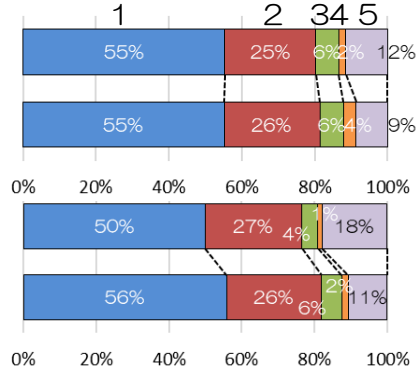
前回

今回

前回(※)

今回(※)

【女性】



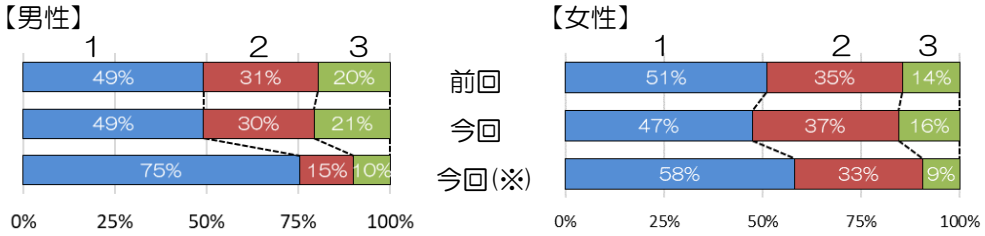
出産・育児に関する諸制度について　（全員回答）

- 全般的に女性、小さい子がいる職員の方が認知度は高い。
- 男女とも前回調査時に比べ、認知度は上昇。
- 妻の出産特別休暇及び家族看護休暇は男女ともに比較的認知度が高い。
- 早出遅出勤務の利用は、小学生以下の子を持つ職員がより利用しているが、「業務との兼合いで利用できていない」声が一定数ある。
- 出生サポート休業の認知度は他制度と比較して低い。

【問 21～27 まで共通事項】

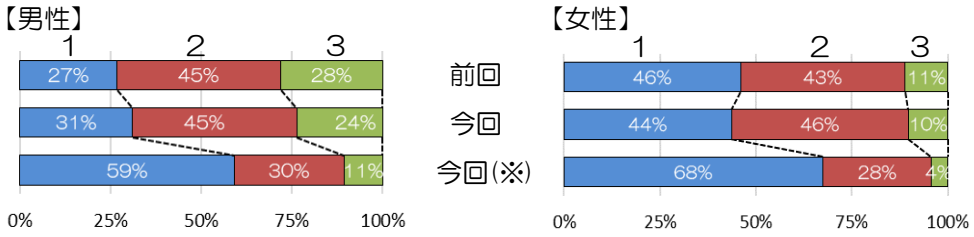
選択肢　1:よく知っている　　2:聞いたことはあるがよく知らない　　3:ほとんど知らない

問 21　妻の出産特別休暇（有給）があることを知っていますか。



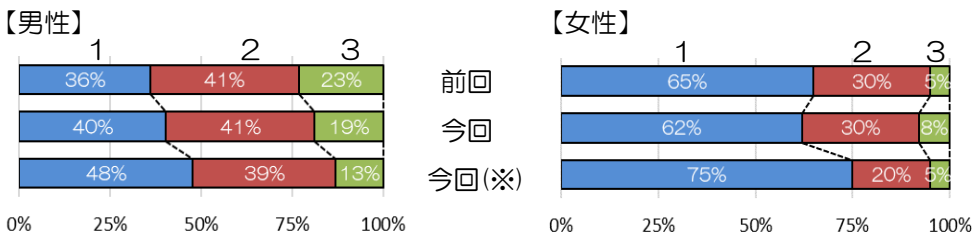
※「今回（※）」は未就学児を持つ職員の回答を集計

問 22　育児休業の取得事由を知っていますか。



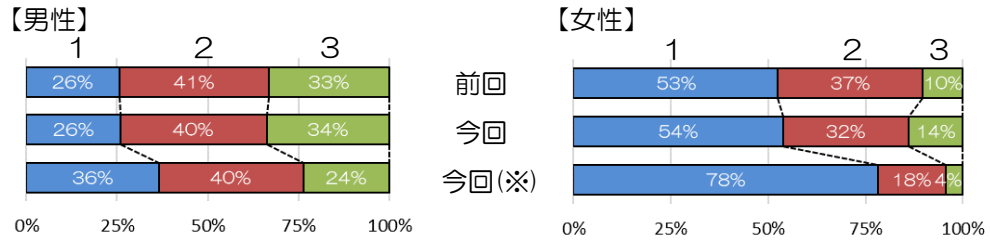
※「今回（※）」は未就学児を持つ職員の回答を集計

問 23　職員の育児休業期間中の代替として任用する任期付職員の制度を知っていますか。



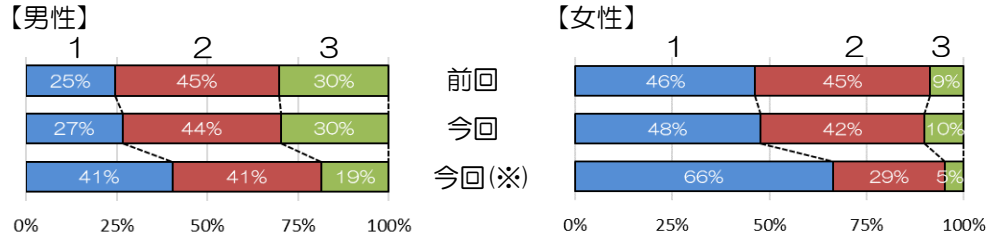
※「今回（※）」は未就学児を持つ職員の回答を集計

問 24　育児のための部分休業（給与控除）があることを知っていますか。



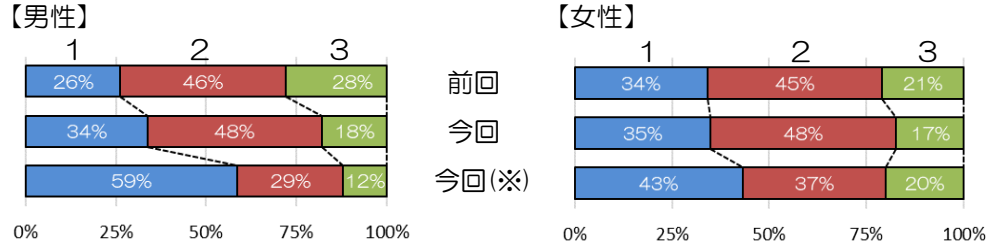
※「今回（※）」は未就学児を持つ職員の回答を集計

問 25　育児短時間勤務制度（給与控除）があることを知っていますか。



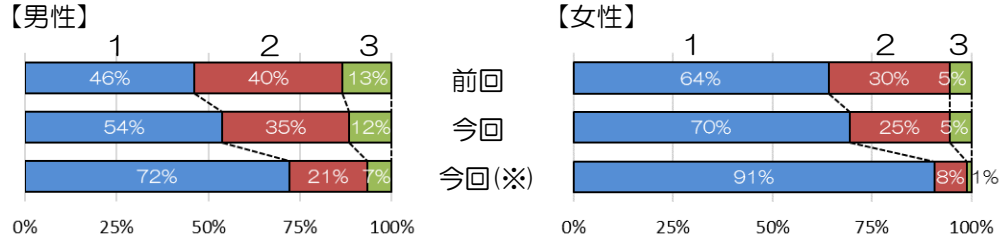
※「今回（※）」は未就学児を持つ職員の回答を集計

問 26　男性職員の育児参加のための休暇（有給）があることを知っていますか。



※「今回（※）」は未就学児を持つ職員の回答を集計

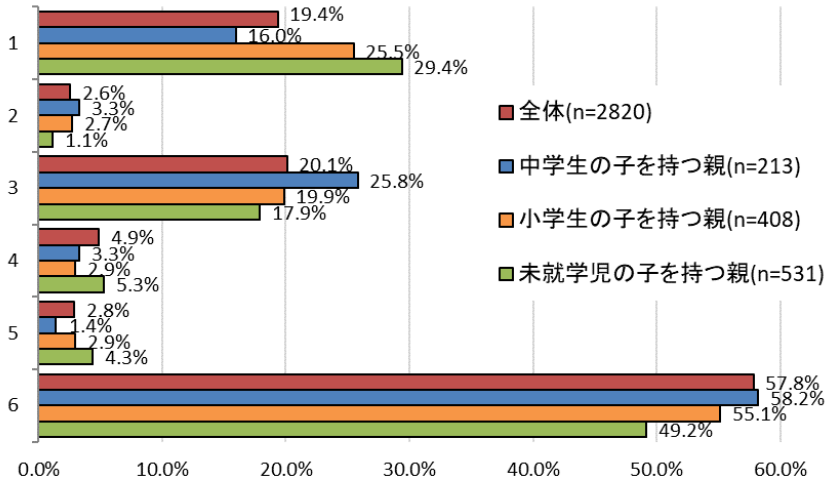
問 27　家族看護休暇（有給）があることを知っていますか。



※「今回（※）」は小学生以下の児童を持つ職員の回答を集計

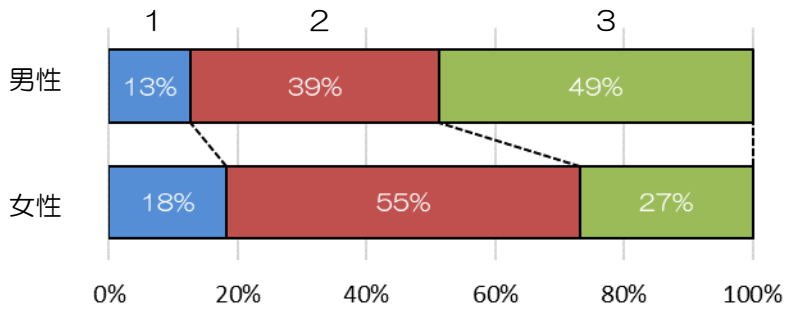
問 28　早出遅出勤務を利用していますか（複数選択可）。

	男性	女性	回答しない	計
1 利用している	374	170	2	546
2 利用している他の職員との兼ね合いで未利用	48	23	0	72
3 業務との兼ね合いで未利用	382	177	3	567
4 制度や申請方法が分からず未利用	86	48	2	137
5 上司に言い出しづらく未利用	43	34	1	80
6 利用しなくても良いと考えている	1,128	492	8	1,631



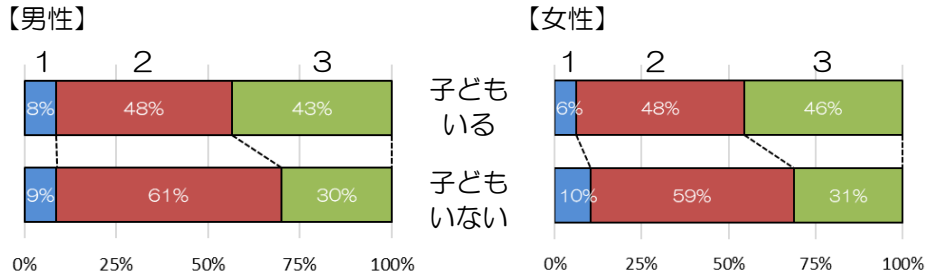
問 29　不妊治療のための休業制度（出生サポート休業（給与控除）があることを知っていますか。

	男性	女性	回答しない	計
1 良く知っている	244	158	4	406
2 聞いたことはあるがよく知らない	744	479	7	1,230
3 ほとんど知らない	940	233	11	1,184
計	1,928	870	22	2,820

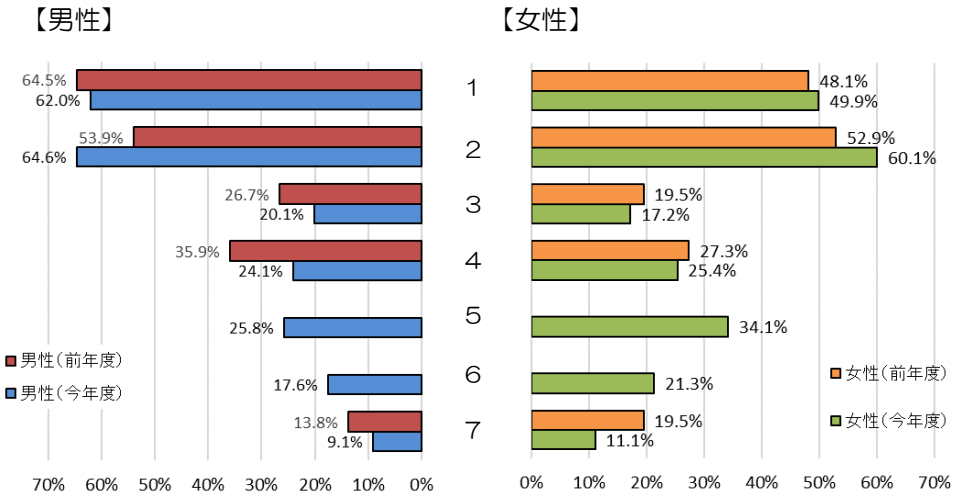


問 30　現状の出産・育児に関する制度等について、どのように感じていますか。

子どもの有無	男性		女性		回答しない		計
	有	無	有	無	有	無	
1 現状で十分	112	52	31	38	1	3	237
2 現状で妥当	633	375	242	216	1	3	1,470
3 現状では不十分	573	183	228	115	6	8	1,113
計	1,318	610	501	369	8	14	2,820



問 31　不十分と感じる理由として、あなたの考えに当てはまるものを【3 つ以内で】選んでください。（問 30 で「現状では不十分」と回答した職員が回答）

子どもの有無	男性		女性		回答しない		計
	有	無	有	無	有	無	
1 業務が多忙なため、必要な時に休暇・休業を取得できない	353	116	123	48	4	3	647
2 代替職員の措置が不十分	371	117	129	77	3	4	701
3 取得対象者への諸制度の周知が不十分	112	40	33	26	0	2	213
4 上司や同僚への啓発・理解促進が不十分	143	39	59	28	2	2	273
5 柔軟な勤務制度の導入や活用が不十分	150	45	90	27	0	2	314
6 休暇の取得可能期間や対象者等制度が不十分	109	24	51	22	3	0	209
7 その他	53	16	33	5	2	3	112

※上段は昨年度、下段は昨年度の結果（問 5,6 は回答項目を変更しているため、今年度のみ）